



信州大学大学院  
人文科学研究科(修士課程)案内  
2019

社会人にも  
開かれた  
大学院!!

地域文化の探究、言語文化への洞察  
知への冒険が始まる



人文科学研究科は1982年(昭和57年)に創設され、現在は地域文化および言語文化の修士課程2専攻から構成されています。2つの専攻の相互協力により、人文科学の広範囲な学問領域を総合的に研究し教育することを目的とし、広く人間の歴史・思想・文化に関して、その本質・構造・普遍性・特殊性を、学際的・比較論的に追求しています。教育の目的とするところは、研究者の育成はもとより、深い人文学の素養を身につけた個としての人間の養成にあり、社会人、外国人留学生を広く受け入れつつ、地域社会や国際社会での学術交流に貢献しています。

人文科学研究科の「理念」



さまざまな文化や価値観が地球的規模で相互に交錯し、葛藤や融合を繰り返している時代の世界を生き抜くための、手がかりとなる「知の方法」を探る。具体的にそれは、高度な論理的思考と科学的分析によって、混迷し錯綜する諸問題の根源を解明し、創造的な指針を得ることである。信州大学大学院人文科学研究科は、あらゆる科学や応用技術を支えるもともと基本的かつ実践的の基盤である、柔軟な認識能力・多角的分析能力・豊かな表現力をもつ人材の養成をめざす。

信州大学大学院人文科学研究科(修士課程)では、自ら創造的な研究活動を続ける教員たちの多彩な授業により、論理的思考と実践的問題解決法、表現能力を身につけさせる。さらに少人数のゼミによる徹底した指導のもとに、院生それぞれの問題意識を深め、独自のテーマにもとづいて、実践的で高度な研究論文の作成を指導する。

# 新しい時代の扉を開く 人文科学の世界へようこそ



## 知的ターゲットに 深く分け入るステージ



### 山田健三研究科長からのあいさつ

世界を構成する天地人。それぞれの営みが天文・地文・人文。よって人文学とは全人類の営みを対象とする学問の総称です。学部教育・知的関心・問題意識に基づく人間・社会観察で、幅広い視野から人的営みを渉猟し、その視野から知的ターゲットを絞った皆さん。次は、その知的ターゲットそのものに深く分け入る段階（大学院）です。人は学び考え続けることでしか成長できません。

知的ターゲットに深く鋭く分け入った優れた先達が集う信州大学大学院人文科学研究科で、皆さん自身の関心・問題意識から人文世界を俯瞰する力を鍛えてください。皆さんが一点突破した地点から広がる広大な人文的景色が、皆さんの人生を生き活きとしたものにしてくれるでしょう。

## 専攻及び募集人員 大学卒業者、社会人、外国人留学生などに広く門戸を開いています。

※私費外国人留学生はこの表とは別に各専攻で若干人を募集します。社会人特別選抜を別に実施しています。

※教育職員免許状は専攻ごとに（ ）内の教科の専修免許状を取得できます。

### 地域文化専攻

募集人員 5人

取得できる教員免許状（平成30年度現在）

- 哲学・思想論領域
- 文化情報論領域
- 心理学領域
- 日本史領域
- 社会心理学領域
- 地域文化史領域
- 社会学領域
- 世界史領域

中学校 教諭専修免許状（社会）  
高等学校 教諭専修免許状（公民）  
高等学校 教諭専修免許状（地理歴史）

### 言語文化専攻

募集人員 5人

取得できる教員免許状（平成30年度現在）

- 日本文学領域
- ドイツ語学・ドイツ文学領域
- 日本語学・日本語教育学領域
- フランス語学・フランス文学領域
- 中国語学・中国文学領域
- 英語学・英米文学領域
- 比較文学領域
- 芸術コミュニケーション領域

中学校 教諭専修免許状（国語）  
高等学校 教諭専修免許状（国語）  
中学校 教諭専修免許状（英語）  
高等学校 教諭専修免許状（英語）  
中学校 教諭専修免許状（ドイツ語）  
高等学校 教諭専修免許状（ドイツ語）

※取得できる教員免許状は認定申請中のため変更の可能性有。

## 入試に関するお問い合わせ

出願手続等の入試情報については、ホームページをご覧ください。

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/prospective/graduate/>)

社会人の方は、職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修する「長期履修学生制度」を申請することができます。

〒390-8621 松本市旭3-1-1 信州大学人文学部内

信州大学大学院人文科学研究科入試事務室 TEL.0263-37-2236

# 多彩な専門領域と 研究・教育スタッフ

(平成30年7月現在)



## 地域文化専攻

地域文化専攻は、「哲学・思想論」「心理学」「社会心理学」「社会学」「文化情報論」「日本史」「地域文化史」「世界史」の8つの専門領域からなります。この8専門領域は、古典的哲学から最新の情報科学までの充実した教員グループによって構成・運営されています。文字通りの少人数教育と多彩な研究計画立案が可能な体制は、信州の豊かな自然環境と相まって、意欲と能力を兼ね備えた学生にとって理想的な思索と研究の機会を提供するでしょう。教員との学問的交流を通じて、学生の皆さんがこれまでに習得した基礎学力や社会経験を深化させ、専門学会や現実社会での創造的活動に携わるための能力をさらに向上させられるような教育研究体制を整えています。

### ▼ 哲学・思想論領域

早坂 俊廣 【中国哲学・比較思想】	護山 真也 【インド仏教認識論】
篠原 成彦 【言語哲学・心の哲学】	三谷 尚澄 【倫理学・西洋哲学】

### ▼ 心理学領域

今井 章 【実験心理学・心理生理学】	高瀬 弘樹 【認知心理学・実験心理学】
--------------------	---------------------

### ▼ 社会心理学領域

長谷川孝治 【対人社会心理学】	清水 健司 【臨床心理学】
岡本 卓也 【社会心理学(集団・コミュニティ)】	

### ▼ 社会学領域

茅野 恒秀 【環境社会学・地域社会学】
---------------------

### ▼ 文化情報論領域

菊池 聡 【認知心理学】	佐藤 広英 【情報コミュニケーション学】
水原 俊博 【消費社会論】	

### ▼ 日本史領域

山本 英二 【日本近世・近代史】	大串 潤児 【日本近現代史】
------------------	----------------

### ▼ 地域文化史領域

佐藤 全敏 【日本古代・中世史】
------------------

### ▼ 世界史領域

豊岡 康史 【中国近世・近代史】	佐藤 真紀 【フランス近代史】
------------------	-----------------

## 言語文化専攻

言語文化専攻は、「日本文学」「日本語学・日本語教育学」「中国語学・中国文学」「比較文学」「ドイツ語学・ドイツ文学」「フランス語学・フランス文学」「英語学・英米文学」「芸術コミュニケーション」の8つの専門領域からなります。ここでは、日本や世界の多様な言語、文化を専門的に研究することができます。各国の言語と文化について専門的に追求するそれぞれの領域に加えて、複数の言語、文化の考察にねざした比較を行う領域、美術やダンス、音楽といった芸術表現をカバーする領域があり、多領域にわたるスタッフが、言語文化に関わる諸問題を専門的に研究・指導します。また、教員スタッフの緊密な協力体制により、多様な研究テーマの多角的、総合的、比較論的な分析・考察も可能となっています。

### ▼ 日本文学領域

渡邊 匡一 【日本中世文学・宗教文化】	速水 香織 【日本文学】
---------------------	--------------

### ▼ 日本語学・日本語教育学領域

山田 健三 【日本語学・日本語史学】	沖 裕子 【現代日本語学・日本語教育学】
白井 純 【日本語史学】	坂口 和寛 【日本語教育学】

### ▼ 中国語学・中国文学領域

氏岡 真士 【中国古典文学】	伊藤加奈子 【現代中国語学】
----------------	----------------

### ▼ 比較文学領域

野津 寛 【西洋古典文学】	渋谷 豊 【比較文学・フランス文学】
---------------	--------------------

### ▼ ドイツ語学・ドイツ文学領域

磯部 美穂 【現代ドイツ語学】	葛西 敬之 【近現代ドイツ語文学】
-----------------	-------------------

### ▼ フランス語学・フランス文学領域

吉田 正明 【近代フランス詩】	鎌田 隆行 【近代フランス小説】
-----------------	------------------

### ▼ 英語学・英米文学領域

伊藤 盡 【英語史・中世英語文献学】	飯岡 詩朗 【アメリカ映画・映像文化】
加藤 鉦三 【英語と日本語の統語論】	杉野健太郎 【アメリカ文学・文化】

### ▼ 芸術コミュニケーション領域

金井 直 【美術史学】	北村 明子 【舞踊学・身体論】
濱崎 友絵 【音楽学】	

### ▼ 共通科目

橋本 純一 【スポーツ文化論】
-----------------



## 在學生・修了生からのメッセージ

### ● 南 英明

言語文化専攻2年(比較文学領域)

私は二世紀のローマの小説『黄金のロバ』という作品の研究をしています。大学院の授業では、主に先生のご指導のもとラテン語で書かれた作品である『黄金のロバ』を原文で精密に読む読解の授業を受講しています。授業は少人数で行われるので自分の興味や関心がある事柄について先生と議論することができ、主体的に授業に参加することができます。

人文科学研究科では年に二回学内シンポジウムが開催されます。様々な分野の先生や他専攻の院生が出席し、多種多様なバックグラウンドを持つ人ならではの興味深い質問や議論が飛び交い刺激を受けます。

信州の豊かな自然のなか四季の変化を肌で感じながら静かに研究に没頭できるのは信州大学大学院人文科学研究科の特色ではないでしょうか。

### ● 對馬 康平

地域文化専攻2年(哲学・思想論領域)

私は、対象の実在について、科学哲学の観点から研究しています。具体的な研究活動としては、最近の科学哲学の文献を読解し、それを自身の中で再構成していくという作業を行っています。主に授業では、様々な文献を先生や他の院生と一緒に読み進めています。文献の多くは、学生の研究テーマと関連したものを選択するため、自分自身の興味関心に直結した授業が展開されているといえます。また、基本的に授業は少人数で行われ、先生や院生を交えた活発な議論がなされており、様々な刺激を受ける場ともなっています。

環境としては、人文科学研究科は、日々の四季を感じる自然豊かな信州松本に位置しており、静かに研究を行うには最適の場所だと思われます。この雄大な山々の麓で自らの知的関心に取り組んでいく場所、それが人文科学研究科なのです。

### ● 藤原 隆史

言語文化専攻：英語学・英米文学領域2016年3月修了；松本大学教育学部専任講師；ユニヴァーシティ・コレッジ・ロンドン(UCL)教育研究所(ロンドン大学)、修士課程修了

本研究科での学びは、私の人生に大変良い影響を与えてくれました。入学当時、学問的知識の欠如からかなりの苦勞を強いられましたが、教授陣の熱心なご指導により自分の知的好奇心を開放し、有意義な研究活動を展開することができました。また、高等学校の英語教員として、言語をそれまでとは違った角度から見つめることができるようになり、古英語の知識や認知言語学の知見に裏打ちされた説得力のある授業を行うことができるようになったと感じています。さらに、大学院シンポジウムでの研究発表は常に刺激的で、分野を横断した真の「知的格闘」が大変心地よいものでした。本研究科での経験が、ロンドン大学での学び及び現在の松本大学での教育実践に結びついています。

**国内外の学会へ出席・発表** 国内外で行われる学会等に出席し、研究発表を行います。

**シンポジウム** 人文科学研究科では年2回、前期末と後期末にシンポジウムを開催し、2年間にわたる研鑽の道標とします。シンポジウムでは、大学院生は自らの研究について発表をおこなうのはもちろん、専門領域の異なる仲間や教員とアクティブな議論を展開することによって、「学際的な知の研鑽」をめざします。

## 人文科学研究科優秀論文賞受賞者の修士論文題目

- 【平成23年度】 ● 加藤 夏希 『諏訪大明神絵詞』の研究
- 【平成24年度】 ● 小川 祐輔 言語理解と規範性
- 上條 智緩 A Semantic Approach to English Teaching
- 梁瀬 愛美 両大戦間の訳詩
- 【平成25年度】 ● 田村 友佳 ジャック・プレヴェール研究
- 丸山 沙織 述部構造再考
- 【平成26年度】 ● 早野 勇馬 An Analysis of English Prepositions and its Application to English Pedagogy
- 【平成27年度】 ● 藤原 隆史 A Study on Causative verb *HAVE* and Its Application to TESOL/TEFL
- 【平成28年度】 ● 植田 拳太 自然法則と傾向性 -傾向性本質主義を擁護する-
- 【平成29年度】 ● 鈴木映梨香 『仏説地藏菩薩発心因縁十王経』研究

## 年間計画

- 4月 ● 入学式・新入生ガイダンス  
前期授業開始
- 5月 ●
- 6月 ● 学位論文題目提出  
開学記念日
- 7月 ●
- 8月 ● 前期授業終了  
前期試験  
夏季休業
- 9月 ● 大学院入試(前期日程)  
シンポジウム
- 10月 ● 後期授業開始
- 11月 ●
- 12月 ● 学位論文提出  
冬季休業
- 1月 ● 後期授業終了  
後期試験  
春季休業
- 2月 ● 大学院入試(後期日程)  
シンポジウム
- 3月 ● 『院生会報 人文科学研究』発行  
学位記授与式



アクセス

JR松本駅お城口(東口)を出て右前方のバスターミナルでのりば1の「信大横田循環線」または、「浅間線」に乗車し(約15分)、「大学西門」下車、徒歩約2分。※JR篠ノ井線は、北松本駅に停車しません。

## 信州大学大学院 人文科学研究科

〒390-8621 松本市旭3-1-1

TEL. 0263-37-2236

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/graduate/>